

科目名	異文化理解				開講 キャンパス	神 埼
担当者	荒 木 雪 葉					
開講年次	1(心・理) 1・2(リ・ア) 1・2・4(子ども)	開講期	前期	単位数	2	必修・選択 選択必修
授業の概要 及びねらい	本講義では、異文化理解の必要性と方法について学ぶ。グローバル化が進む現代において異文化理解の重要性はますます高まっている。異文化理解を、現代社会を生きるために必要なスキルとして身につけることが目標である。					
授 業 の 到達目標	1) 異文化理解の必要性を理解する。 2) 異文化について考える力をつける。					
学習方法	講義、発表					
テキスト及 び参考書等	青木保『異文化理解』岩波新書					
評価基準・方法	到達目標					評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験	○	◎	◎	○	70	
小テスト等						
宿題・授業外レポート						
授業態度	○		◎		15	
受講者の発表			○		5	
授業への参加度	○		○		10	
その他						
合 計					100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)						
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)						
第 1 週	導入：異文化とは何か 異文化理解とは何か					
第 2 週	異文化へ向かう (1)					
第 3 週	異文化へ向かう (2)					
第 4 週	異文化を体験する (1)					
第 5 週	異文化を体験する (2)					
第 6 週	異文化を体験する (3)					
第 7 週	異文化の警告 (1)					
第 8 週	異文化の警告 (2)					
第 9 週	異文化の警告 (3)					
第 10 週	異文化との対話 (1)					
第 11 週	異文化との対話 (2)					
第 12 週	異文化との対話 (3)					
第 13 週	異文化との対話 (4)					
第 14 週	まとめ (1)					
第 15 週	まとめ (2)					
第 16 週						
備 考	授業中の私語、携帯電話の使用は禁止する。他の受講者に迷惑をかける行為をする者は、退室を命ずることがある。					